

全国のタクシー会社が連携して、地域の方々を見守る。



全国見守りタクシーサービスネットワーク

Watching Confirmation Agency Taxi Service Network

全国見守りタクシーサービスネットワークのご案内



はじめに

本サービスの原点は、3・11「東日本大震災」にあります。

消息を気遣う遠方のご家族からのご依頼から、タクシーが安否確認を始めたことがキッカケとなっています。

たとえ、大地震が起きた地域であっても、近隣の被災が無い地域からでも安否確認ができるのは、タクシーならではの特徴です。

現在、全国どこにいても、いつ大地震が来てもおかしくありません。

「東日本大震災」の時と同じように、近隣の地域のタクシー会社が連携して、タクシーの機動性を活かしたサービスができればという思いから、このサービス提供が始まっております。

大地震が起きたり、何らかの災害があった際での遠方のご依頼ももちろんですが、日常的にも、サービス提供していく意義は非常に高いといえます。



時代背景

世界経済の大きな潮流、「シェアリングエコノミー」。

フランスでは、Airbnb（エアビーアンドビー）による民泊により、2017年1年間で800件のホテルが廃業し、利用客も減少。現在でも1日1件の割合で廃業に追い込まれているといわれます。ただ、一方では、廃棄する食料品をフードシェアで廃棄ロスを減らす取り組みもされております。

タクシー業界では、ライドシェアサービスを提供するUber（ウーバー）の出現により5年足らずで、米国では、タクシー会社の3割以上が倒産する都市も出現しています。

自動運転時代が、オリンピック開催を契機に急速に目の前に迫ってきています。

「100年に1度の変革期」にある自動車業界でも、従来のクルマを売るから、移動サービスにシフトせざるを得ないMaas（Mobility as a Service）の時代を迎えようとしています。

今後、本格的にMaasが市場を席卷すると、タクシー業界においても従来通りの移動サービスだけでは難しい局面を迎えることになります。まだ、先のことと思っても、いずれ、前述の「シェアリングエコノミー」の隆盛と同じ状況が生み出されることは疑いありません。

一方で、国内では超高齢化社会から「2025年問題」も本格化してきます。

また、国民世帯の3割が、一人暮らしの世帯となっており、2025年には4割近くを占め、約2人に1人は一人暮らしの方が増える見込みとなっております。

大きく時代が変わる時を目の前に、タクシー業界でも地域から求められるサービスも、大きく多様化する時代を迎えております。全国のタクシー会社様が、連携して見守りのサービスを提供する意義は高く、その機動性を活かしたサービス提供することが望まれます。

最新トピック：エアタクシーや無料タクシーが登場するの？

トピック1：1クリックで呼び出し、どこからでも離陸可能

世界中で開発が進められているエアタクシー。

滑走路も入らず、垂直に離着陸し、羽もたためるので、どこからでも離陸が可能になります。

地上が渋滞していても、問題ありません。また、クルマでは15分で12キロ進めなくても、エアタクシーだと70キロ移動できるので、通勤でも5倍程度離れていても短時間の通勤距離圏内になります。

この通勤シェアでは、料金も安価で、スマホで予約し、オンデマンドでの運行できてしまいます。

各社とも実施サービス提供時期を、2023年～2025年あたりを想定して開発を進めています。

トピック2：Maas時代には、無料でタクシーが利用できる!?

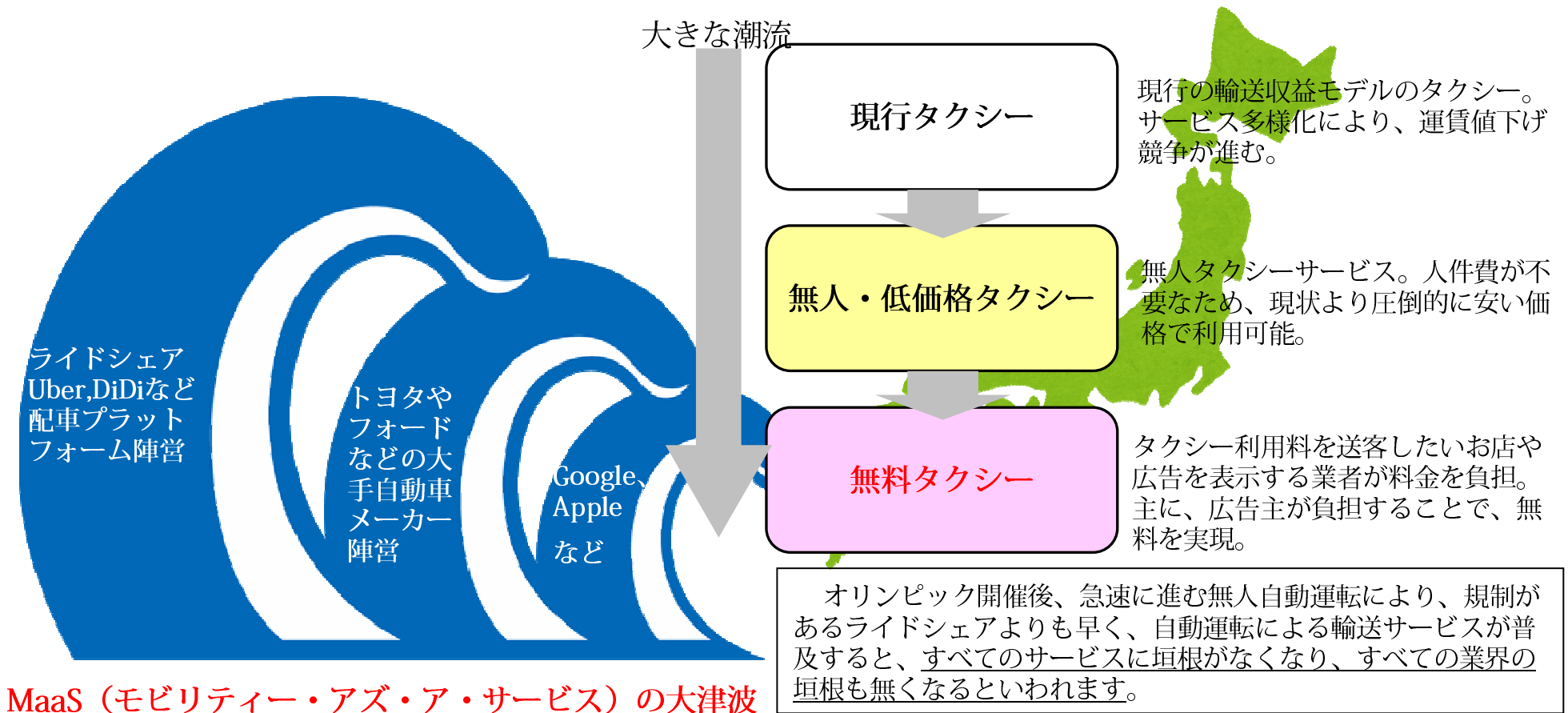
Maas時代は、クルマを所有する時代から選んで使う時代になり、無人走行になるので、運転免許も必要なくなります。

Maas時代には、無料タクシーが当たり前になるかも知れません。

無人タクシーでは料金が今の1/10以下と非常に安価になるため、乗車運賃ではなく、広告料が収益源となることが見込まれています。

そうすると、誰もが無料でタクシーを利用できる時代が到来することになります。

事業背景 1 : 「100年に一度の大変革」 Maasの時代。



米フォード社のCEO、Mark Fields氏は、「現在は自動車市場2兆3,000億ドル（約260兆円）の6%シェアを有するにすぎないが、将来自動運転車を使ったタクシーサービス業、運送サービス業、カーシェア事業などに乗り出し、モビリティサービス市場5兆4,000億ドル（約620兆円）におけるリーディング企業になる」と宣言。

事業背景 2：国内自動運転のロードマップ

年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
---	------	------	------	------	------	------	------	------

※2025年完全自動運転を見据えた
市場化・サービス実現の官庁のシナリオ

オリンピック



大規模実証

一般道路での自動運転

公道実証

限定地域での無人自動運転
移動サービス レベル 4

※2025年をメドに完全自動運転を目指していますが、
国際間での開発競争も激化していることで、前倒しで
のサービス提供になることも想定されます。

【表 5】自動運転システムの市場化・サービス実現期待時期※¹

	レベル	実現が見込まれる技術（例）	市場化等期待時期
自動運転技術の高度化			
自家用	SAE レベル 2	「準自動パイロット」	2020 年まで
	SAE レベル 3	「自動パイロット」	2020 年目途※ ³
	SAE レベル 4	高速道路での完全自動運転	2025 年目途※ ³
物流サービス	SAE レベル 2 以上	高速道路でのトラックの隊列 走行	2022 年以降
	SAE レベル 4	高速道路でのトラックの完全 自動運転	2025 年以降※ ³
移動サービス	SAE レベル 4※ ²	限定地域での無人自動運転移 動サービス	2020 年まで
運転支援技術の高度化			
自家用		高度安全運転支援システム （仮称）	（2020 年代前半） 今後の検討内容による

高速道路での完全自動運転
レベル 4

高速道路での完全自動運転
トラック

無人自動運転移動サービス
レベル 4

限定地域での自動運転配送サービス

普及拡大

（2018/02/23付記事）

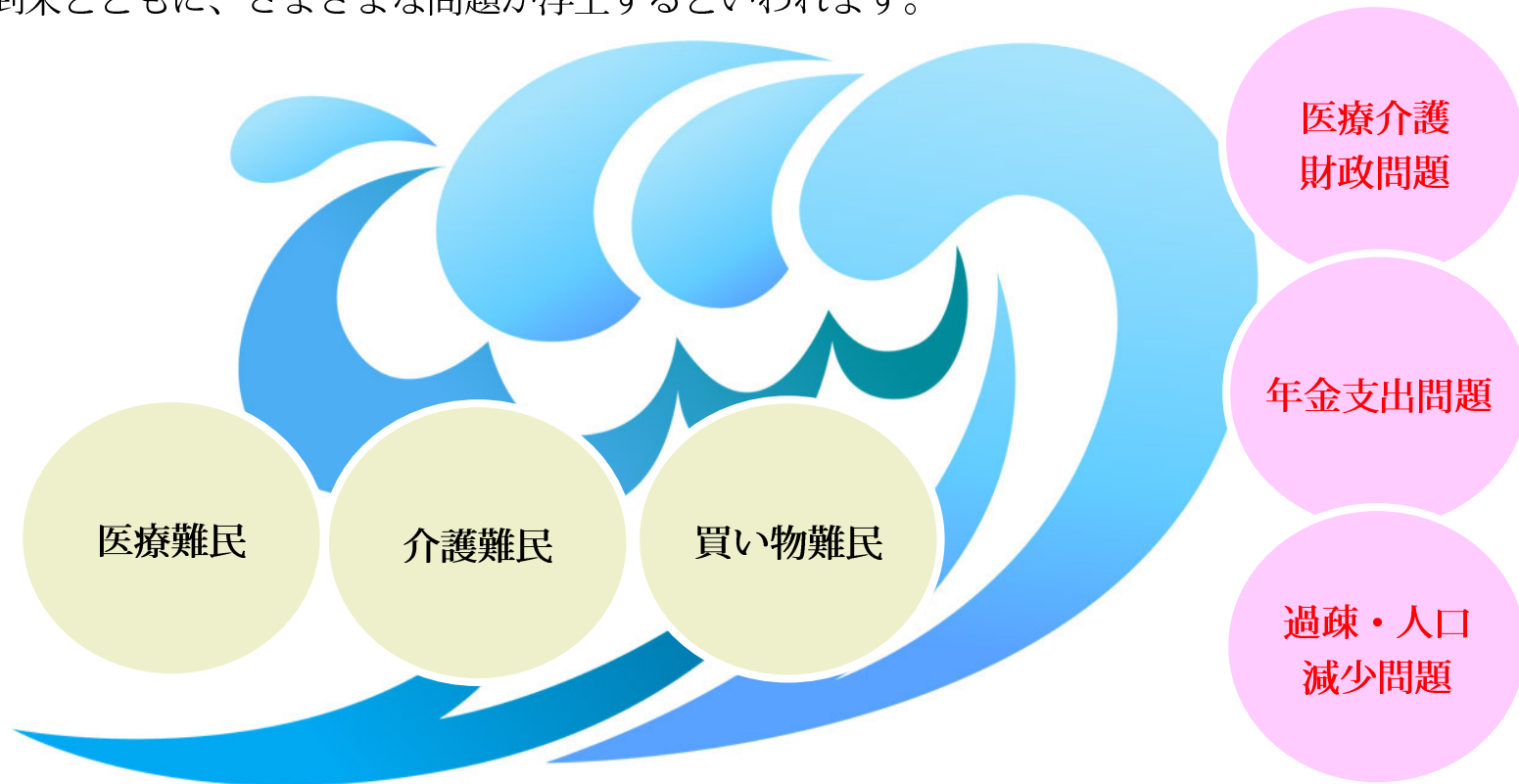
（2018/02/09付記事）

日産とIT大手DeNAは、2020年代前半に自動運転車両を使った新しい交通サービスの本格展開を目指すと発表。運転手がない「無人タクシー」を、地方にも本格展開する。無人運転での新たな交通サービス「Easy Ride」を3月5日から実験を開始。Easy Rideは、好きな場所に自由に移動できる交通サービス。専用アプリは、目的地の設定から配車、支払いまで対応しており、無人タクシーでの目的や気分に合わせて地元の店舗やおすすめの観光スポットに行ける。また、子どもの送り迎えや高齢者の移動、訪日外国人旅行者の観光などに開発が進められている。

ソフトバンクは、中国の滴滴出行（DiDi）と協業すると発表した。同協業は、DiDiのAI技術を活用してタクシー配車プラットフォームの構築を目指す。2018年中をめぐりに大阪府、京都府、福岡県、東京都などで実証実験を実施する。DiDiが持つ深層学習をベースにした需要予測とスマート配車システムに、タクシー配車サービスを最適化し、利用者の利便性向上を図る。

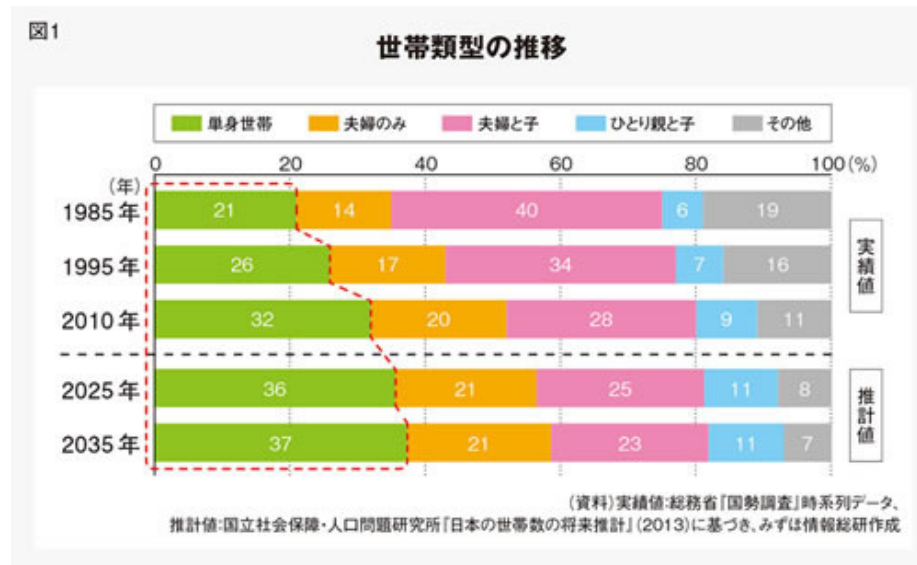
国内背景 1：「2025年問題」

国内では、「2025年問題」が本格化してきます。国内で2,200万人、4人に1人が75歳以上という超高齢化社会の到来とともに、さまざまな問題が浮上するといわれます。

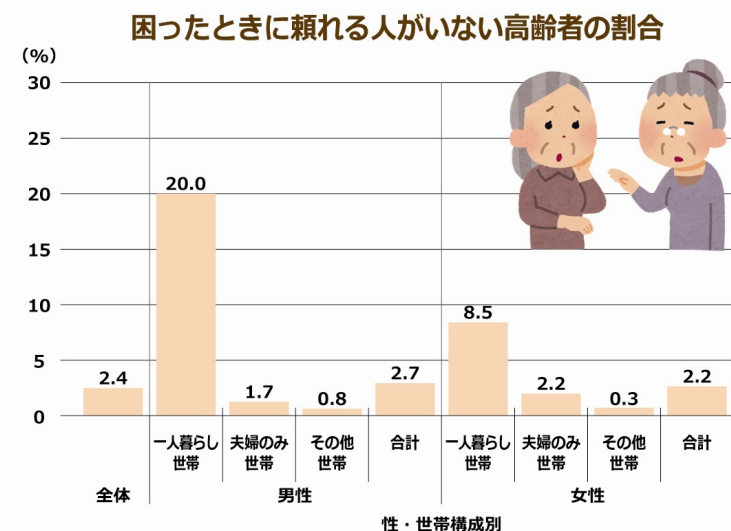


国内での2025年問題はあくまで始まりであり、医療費や介護費などの財政問題も抱えながら、その後もずっと続いていきます。また、少子高齢化だけでなく、一人暮らし世帯の急増とともに「孤独死」増加により、地域の「見守り」課題も浮上しています。

国内背景 2：急増する一人暮らし世帯



一人暮らし世帯が、3人に1人。



資料:内閣府「高齢者の経済生活に関する意識調査(平成23年)」
(注)対象は、全国60歳以上の男女

困った時に頼れないが、5人に1人。

現在、超高齢社会到来とともに、一人暮らし世帯が急増しています。高齢になると伴侶を亡くしたり、子供も転勤や結婚で離れると一人暮らしになります。現代では未婚や中高年での離婚に伴う一人暮らしも増えております。

一人暮らし世帯で、何かしら健康不安を抱える方も増えています。中高年になると、2人に1人は高血圧とも言われ、突然、脳卒中を発症したりするケースも多く、いずれ、何らかの疾患を持っていると、持病が急変して、「孤独死」になるケースも全国的に増加傾向にあります。

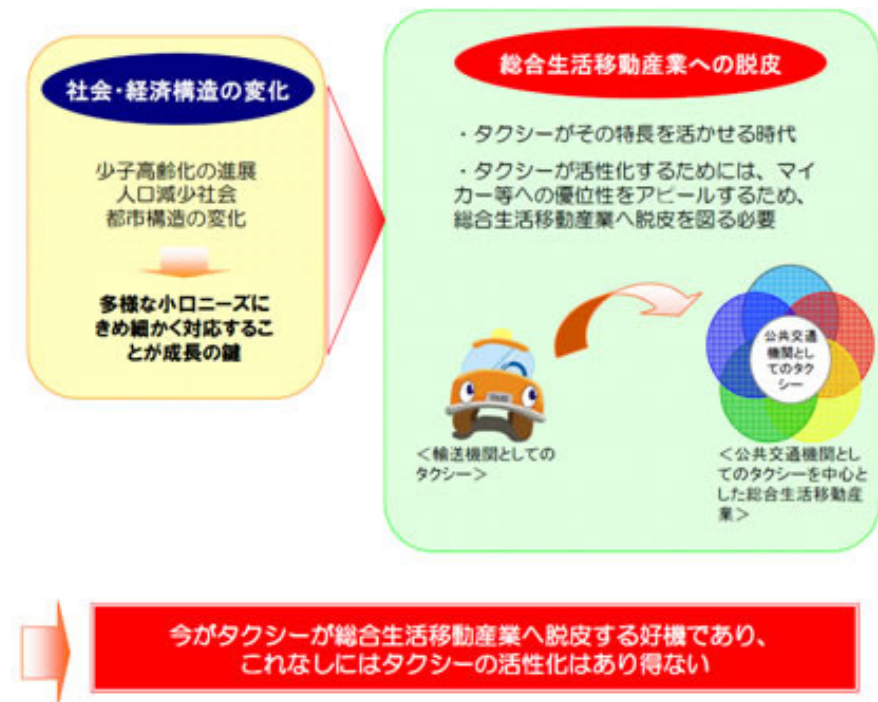
レポート1：これからの新しいタクシーサービスのあり方

「タクシー革新プラン2016」 から抜粋。（平成28年4月1日新しいタクシーのあり方検討会）

※国土交通省の資料から抜粋。

タクシーは、鉄道・バス等とともに地域の公共交通を形成する、重要な交通機関である。特に、タクシーはドア・ツー・ドアの輸送サービスや夜間・早朝を問わない24時間の対応が可能であり、利用者の多様なニーズに、きめ細かく、柔軟に応じることができる交通機関として、地域住民の生活利便の向上やビジネス・観光交流を支える基盤として、国民生活に欠かすことのできない役割を担っている。

高齢化、人口減少などの社会変化を背景に生まれている新たなニーズをいかに捉え事業の活性化を図っていくか、また、地域を支える公共交通としてのタクシー事業の持続性を確保するためにどのように人材確保や経営効率化を図っていくかという観点から、不断の取組が求められる。



地域密着型産業であるタクシー事業者にとって、住民のニーズに柔軟・的確に応え、地域の持続可能性を確保することは、事業の生産性向上の観点からも重要である。さらに、自動車・自動車関連産業を取り巻く環境は、クルマの電動化やITとの統合、エネルギーや交通インフラといった社会システムの変化等により大きな転換点を迎えつつある。環境が大きく変化する際に生き残るのは、大きい者でも強い者でもなく、変化に柔軟に適応する者である。シェアリングエコノミーといった新たな潮流が生まれている中、タクシーを取り巻く環境が激変していることから、タクシー事業、政策ともにイノベーション（革新）が求められている。

レポート2：今後、期待されるタクシー・サービスとは？

「タクシーに関するアンケート調査」（平成27年3月国土交通省自動車局旅客課）から

「今後あればいいと思うタクシー・サービスはどのようなものですか？」（抜粋）

- ・救急車の代替機能をもつタクシー。いざという時に365日24時間対応してもらえる『かかりつけ』の運転手の顔が見えるタクシーのような制度があれば、ぜひ利用したい。
- ・老人に限らず病気の時、なにか提示して例えば荷物を玄関まで運ぶなどのなんらかの付加価値を加えるともっと利用するのではないか。お助けマークをつけているなど。
- ・お年寄りや体の不自由な方の為に、委託貨物運送（電話依頼だけで顧客は乗らないで）買い物をしたり宅配便を出したり持って来てくれるサービス。
- ・救援支援等、配達・買物・作業代行・利用者同行。
- ・定期利用者へのサービス制度。
- ・親の自宅を見に行っていただけけるタクシー。
- ・定期利用割引サービス（特に高齢者向けの買い物や通院に対応するようなサービスを期待しています）。
- ・女性のドライバーや若いドライバーが増えてくれると、若い女性がタクシーを利用しやすくなってよいと思います。



※国土交通省の資料から抜粋。

全国タクシー会社・連携協働による新たなサービス展開

事業背景 **Maas**時代の到来

国内背景 超高齢化社会到来

ライドシェア

無人運転

無料タクシー

医療難民

介護難民

買い物難民

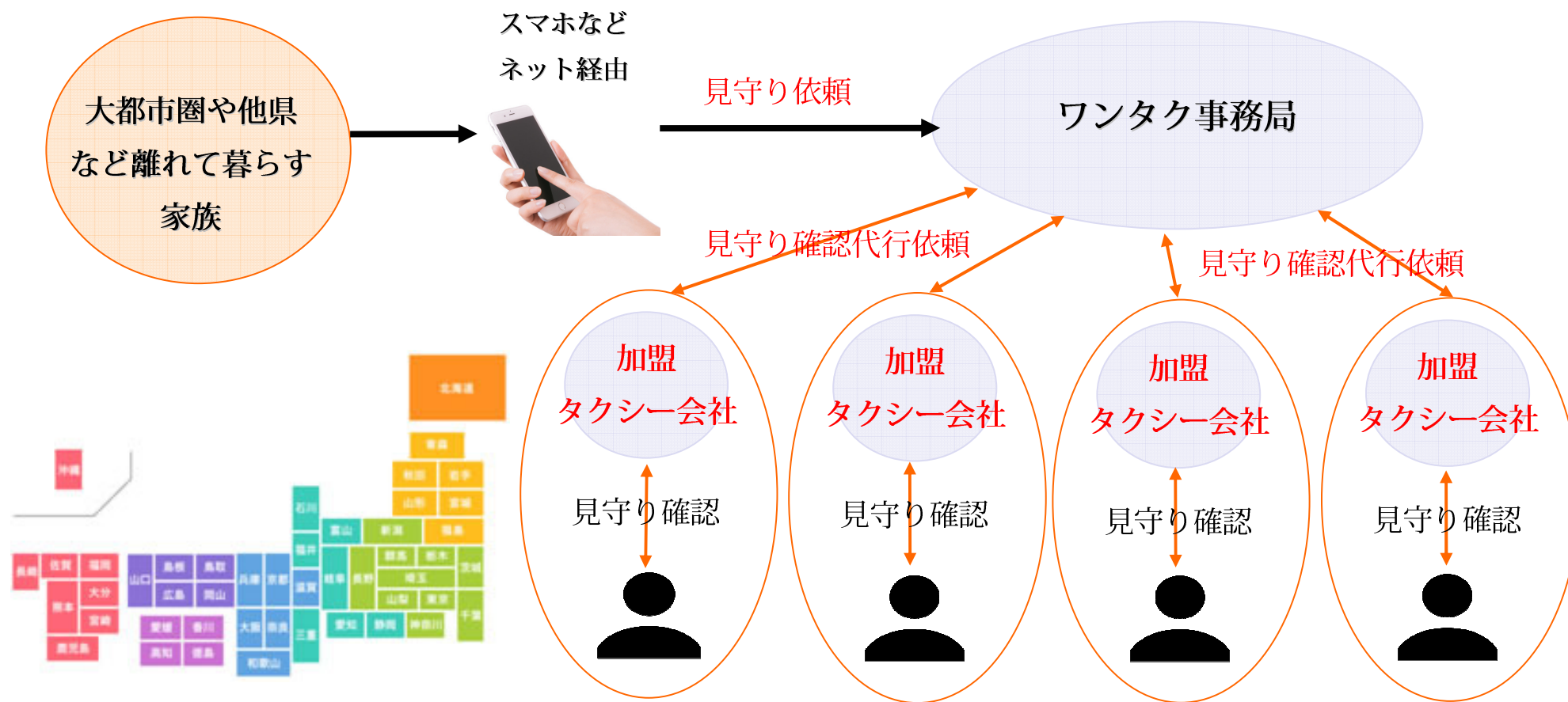
100年に1度の大変革期

一人暮らし世帯の急増と地域ニーズの多様性

今後、時代の要請を踏まえた「人」でしかできないサービスに特化すれば、永続的にサービス展開することができます。そのためにも、移動サービスだけでなく、新たなタクシーサービスにチャレンジしていくことが求められます。

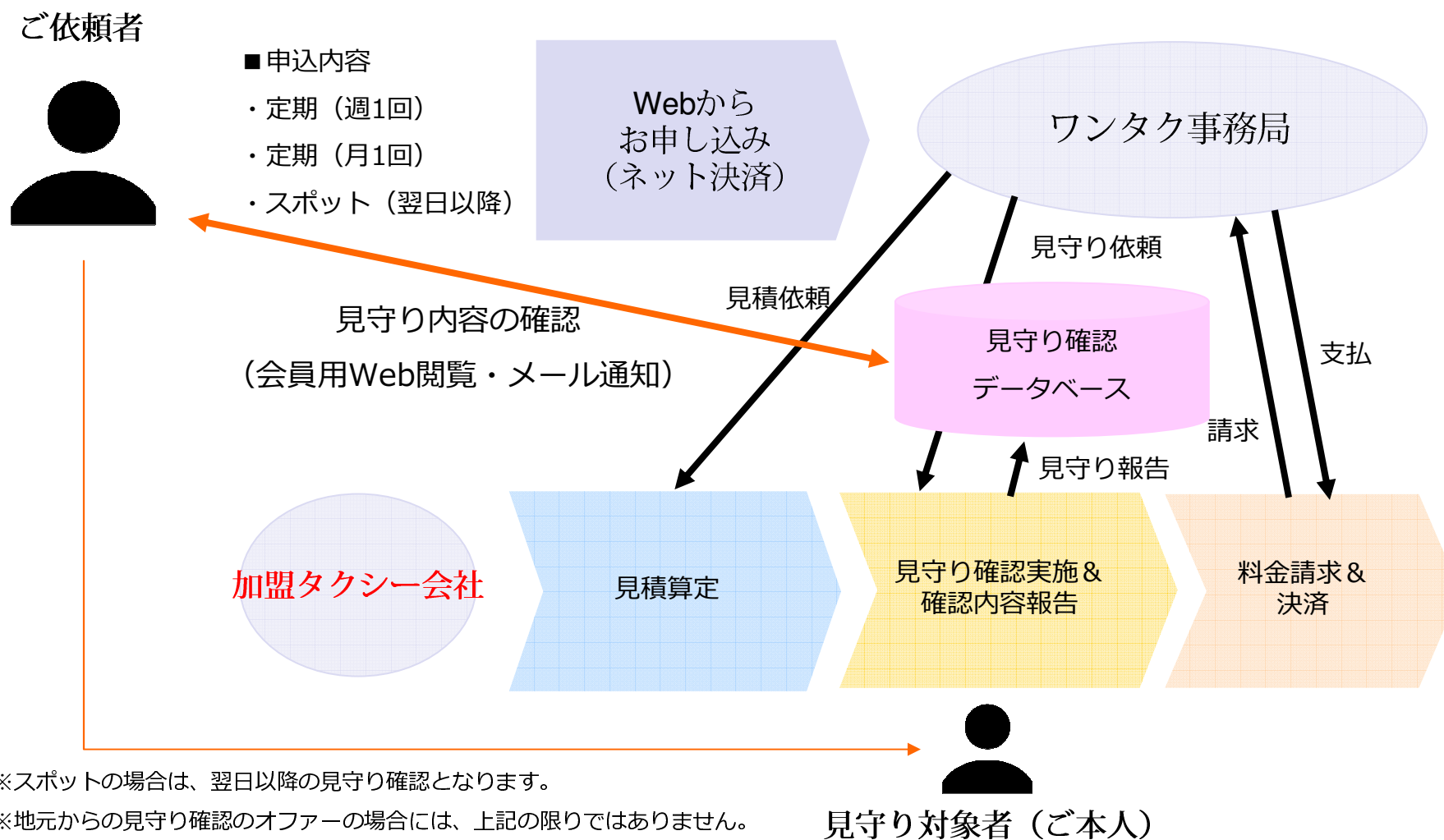
全国見守りタクシーサービスネットワークとは？

全国見守りタクシーサービスネットワーク概要



「見守り」サービスは、全国でネットワークで行う事業となります。全国各地域の加盟タクシー会社様と連携しながら行う事業となります。このサービスは、離れて暮らす家族からの見守り確認依頼を受けて、地域の加盟タクシー会社様へ見守り確認サービスを発注する仕組みになります。

加盟店での見守りサービス提供の流れ



ワンタク加盟店紹介 (株)平和・とりょうタクシー



会社名 (株)平和・とりょうタクシー
乗降車地域 盛岡市
代表者名 國枝 康彦
資本金 1,000万円
住所 〒 020-0021 岩手県盛岡市中央通1-6-25
営業時間 24時間営業
車両台数 67台
従業員数 150人

社長・加盟にあたってのコメント

東日本大震災を契機に、見守りサービスの必要性を感じている。また、タクシー業界も大きく変わる時期であり、現状のサービスだけに終始しているだけだといずれ、社員の高齢化などにより行き詰まりを感じているし、若い人員も集まらない。

社会的意義の高い事業とともに、本格的に輸送サービスだけに限らず、機動性を生かしたタクシーならではのサービスを提供し、求人の多様化や地域での生き残りを図っていきたい。

地元テレビ局、地元新聞、地元フリーペーパーなどの掲載。



加盟にあたって

ワンタク見守りタクシー会員制サービスに加盟することが条件となります。ただ、下記の点をご確認ください。

① 見守り確認サービス

離れたご親族からの見守り確認サービスをご提供できることが本サービスの特徴となります。事務局から提供される見守り確認チェックシートの行動と報告を行っていただきます。（※事務局から見守り確認マニュアルをご提供いたします。その際、特別な社員教育は必要ありませんが、見守り確認のチェックシートでの確認ができれば問題ありません。）

② 見守り確認後の報告

依頼者への報告は、専用のシステムで管理しております。見守り確認などの結果をシステムに登録し履歴を閲覧できる内容となっており、その報告を逐次システムに登録していただきます。もし、システム対応が難しい場合には、メール等での対応も可能になっていますので、ご安心ください。（※メールは最低限必須）

③ 緊急時連絡対応

見守り確認時に、緊急なことが発生した場合、しかるべき対応（連絡等）ができること。（※通常、見守り確認マニュアルどおりに行動すれば、問題ございませんが、イレギュラーが発生した場合には、ワンタク事務局へご連絡ください。）

加盟からサービス開始までの流れ

サービス開始までの流れは、下記の通りとなります。

お申し込み

まずは、お申し込み用紙にご記入頂き、FAXかメール等でご送付ください。また、ご不明な点等あれば、電話やメールにてご確認ください。

審査

加盟の条件が満たしているかを審査させていただきます。また、地域によって、既に多数の加盟しているタクシー会社がある場合には、お断りを入れる場合がありますので、その場合はご容赦ください。

加盟手続き開始

審査が通った場合、書面にてご連絡申し上げます。見守り確認マニュアル、見守り管理システムのマニュアルなどの資料をご提供いたします。サービス開始前までに、社員の方への教育訓練用としてお使いください。

加盟手続き完了

御社専用の見守りシステムの設定が完了次第、その旨通知いたします。サービス開始前に、専用IDとパスワードにてご確認ください。

サービス開始

サービス開始となります。全国からオファーがあり次第、ご連絡申し上げます。

お問い合わせ先

ご不明な点やご質問等は、お気軽にお問い合わせください。



全国見守りタクシーサービスネットワーク協議会

サービス受付窓口



株式会社デカルト

〒020-0021 盛岡市中央通3-17-7

電話：019-606-1070 eメール：info@dicult.co.jp

ワンタクサイト <http://onetaku.net/>